

2026年12月期 第2四半期 (中間期) 決算短信 (日本基準) (非連結)

2026年8月7日

上場会社名 新報国マテリアル株式会社
コード番号 5542 URL <https://www.shst.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長
半期報告書提出予定日 2026年8月10日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
(氏名) 成瀬 正
(氏名) 大和田 真広
TEL 049-242-1950
配当支払開始予定日 2026年9月1日

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年12月期第2四半期 (中間期) の業績 (2026年1月1日～2026年6月30日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	3,505	10.3	426	19.0	437	19.8	345	25.6
2025年12月期中間期	3,177	0.6	358	0.7	365	1.2	275	2.4

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	51.89	—
2025年12月期中間期	41.20	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	8,725	6,058	69.4
2025年12月期	7,725	5,806	75.2

(参考) 自己資本 2026年12月期中間期 6,058百万円 2025年12月期 5,806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	10.00	—	15.00	25.00
2026年12月期	—	10.00			
2026年12月期 (予想)			—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年12月期の業績予想 (2026年 1月 1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	31.8	850	82.3	870	61.1	650	62.0	97.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- | |
|----------------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数 (中間期) |

2026年12月期中間期	7,020,000 株	2025年12月期	7,020,000 株
2026年12月期中間期	363,968 株	2025年12月期	363,218 株
2026年12月期中間期	6,656,139 株	2025年12月期中間期	6,674,911 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間貸借対照表	3
(2) 中間損益計算書	4
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における経済情勢は、米国関税政策の継続や中東地域における緊張状態の長期化懸念など、複雑な地政学リスクを背景に先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下で、当社主力である半導体製造装置市場では、AI及びデータセンター向け半導体投資が急速に拡大しており、それに伴い受注状況も好調に推移しております。

この結果、当中間会計期間の売上高は328百万円増収の3,505百万円(前年同期比10.3%増)、営業利益は68百万円増益の426百万円(前年同期比19.0%増)、経常利益は72百万円増益の437百万円(前年同期比19.8%増)、中間純利益は70百万円増益の345百万円(前年同期比25.6%増)と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前事業年度末より1,000百万円増加し8,725百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加額483百万円、受取手形及び売掛金の増加額451百万円、棚卸資産の増加額183百万円等によるものです。

負債は、前事業年度末より748百万円増加し2,667百万円となりました。これは主に買掛金の増加額336百万円、未払法人税等の増加額89百万円、賞与引当金の増加額64百万円、その他流動負債の増加額255百万円等によるものです。

純資産は、前事業年度末より252百万円増加し6,058百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加額246百万円等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ483百万円増加し2,297百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、657百万円(前年同期325百万円)となりました。これは主に税引前中間純利益437百万円、仕入債務の増加額336百万円、減価償却費105百万円等の増加要因が売上債権の増加額379百万円、棚卸資産の増加額183百万円等の減少要因を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、△74百万円(前年同期△83百万円)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出74百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、△100百万円(前年同期△174百万円)となりました。これは主に配当金の支払額99百万円等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、同時に発表いたしました「第2四半期(中間期)業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」の通り、上期及び通期の上方修正をいたしました。

なお、中長期的にはAI及びデータセンター向けの半導体需要はさらに拡大する見込みであり、加えて、液体水素関連、航空宇宙分野および欧州の半導体製造装置メーカー向けの新規拡販といった当社の中期取組みも着実に前進しております。これらの需要増を着実に取り込み当社の中長期的な成長に繋げるため、2028年稼働を目標に三重工場の増産に向けた設備投資の検討を開始いたしました。投資規模は10億円程度を見込み、全て自己資金で行います。

詳細につきましては、当該検討が纏まり次第速やかに開示いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当中間会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,314,462	3,797,251
受取手形及び売掛金	496,495	947,626
電子記録債権	91,583	19,694
製品	283,192	265,633
原材料	527,247	666,075
仕掛品	1,289,509	1,351,129
未収入金	5,687	19,131
その他	80,535	34,312
貸倒引当金	△59	△97
流動資産合計	6,088,650	7,100,753
固定資産		
有形固定資産	1,430,085	1,394,542
無形固定資産	31,713	24,961
投資その他の資産	174,917	205,133
固定資産合計	1,636,715	1,624,636
資産合計	7,725,366	8,725,390
負債の部		
流動負債		
買掛金	198,570	534,545
1年内返済予定の長期借入金	400,000	1,000,000
未払法人税等	45,510	134,605
賞与引当金	21,200	84,750
その他	146,735	401,874
流動負債合計	812,014	2,155,774
固定負債		
長期借入金	700,000	100,000
退職給付引当金	246,924	252,541
その他	159,929	158,830
固定負債合計	1,106,853	511,371
負債合計	1,918,868	2,667,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	175,500	175,500
資本剰余金	231,370	231,370
利益剰余金	5,470,669	5,716,234
自己株式	△109,279	△109,279
株主資本合計	5,768,261	6,013,825
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38,237	44,420
評価・換算差額等合計	38,237	44,420
純資産合計	5,806,498	6,058,245
負債純資産合計	7,725,366	8,725,390

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,177,102	3,505,129
売上原価	2,380,362	2,490,125
売上総利益	796,740	1,015,003
販売費及び一般管理費	438,457	588,531
営業利益	358,283	426,472
営業外収益		
受取利息及び配当金	957	2,854
補助金収入	—	3,238
原材料売却益	1,392	—
その他	9,460	7,095
営業外収益合計	11,809	13,188
営業外費用		
支払利息	2,510	2,473
リース解約損	2,459	—
その他	198	—
営業外費用合計	5,167	2,473
経常利益	364,925	437,188
税引前中間純利益	364,925	437,188
法人税、住民税及び事業税	109,086	116,597
法人税等調整額	△19,147	△24,825
法人税等合計	89,938	91,772
中間純利益	274,986	345,416

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	364,925	437,188
減価償却費	88,415	105,350
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	38
受取利息及び受取配当金	△957	△2,854
支払利息	2,510	2,473
リース解約損	2,459	—
売上債権の増減額(△は増加)	110,641	△379,242
棚卸資産の増減額(△は増加)	△212,468	△182,889
仕入債務の増減額(△は減少)	11,796	335,975
未収入金の増減額(△は増加)	3,685	△13,444
賞与引当金の増減額(△は減少)	41,182	63,550
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,200	5,617
補助金収入	—	△3,238
その他	25,284	319,138
小計	446,662	687,661
利息及び配当金の受取額	957	809
利息の支払額	△2,510	△2,473
法人税等の支払額	△119,685	△32,270
補助金の受取額	—	3,238
営業活動によるキャッシュ・フロー	325,423	656,965
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△79,809	△74,065
ソフトウェアの取得による支出	△3,243	—
その他	—	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,051	△74,055
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△100,859	△98,911
リース債務の返済による支出	△4,762	△1,211
自己株式の取得による支出	△68,241	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△173,863	△100,122
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	68,509	482,789
現金及び現金同等物の期首残高	3,426,326	1,814,462
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,494,836	2,297,251

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。